

## 令和6年度元気なコミュニティ特選団体の概要

番号	市町村名	団体名	活動内容の概要
1	盛岡市	特定非営利活動法人 本州産クマゲラ研究会	・主に北東北三県のブナ自然林内で、クマゲラ個体群の生息・生態調査を実施し、世界的分布において南限、東端に近く、日本において最南に位置し隔離個体群ともいえる本州産クマゲラ個体群の生態解明と、それを取り巻く本州の自然植生・野生生物の保護・保全に寄与することを目的とした活動を行っています。
2	盛岡市	沢田町内会	・北に岩山、南に金勢山、中央に築川が流れる地域であり、築川は昔より清流として有名で、市民の飲み水としても使われています。 ・町内会では築川の美化を図るため、年3回の草刈りとごみ拾いをしています。 ・これらの取り組みの成果もあり、夏には沢田橋から片岡橋の間でホタルが飛び交うようになりました。
3	盛岡市	特定非営利活動法人 未来図書館	・下記の活動を通じ、年間で県内の小学6年～高校3年の約1割となる約6,000名の子ども達と240名程度の大人が学び合っています。 「未来パスポート」 多様な生き方、価値観を持つ複数の大人が個々にブースを設置し、グループに分かれた子ども達に対して子ども時代からの歩みや自分らしく幸せに生きるヒントを話します。 「かだるプログラム」 恋や愛、失敗、友情などのテーマを設定し、中高生と大学生・大人が本気で語り合います。 「ジブン未来パスポート」 自分らしく幸せに生きていくため、自分を見つめることが出来るワークシートや大人達からのメッセージを掲載したパスポート(冊子)を子ども達に配布しています。 ・このほか、「なぜ」「どうして」と自分に問いかけ、自分を知るキャリア教育支援講座や、コミュニケーション能力育成の入口としてのソーシャルスキル育成講座などの活動を、子ども会、児童センターや学校を対象に行っています。
4	盛岡市	特定非営利活動法人 いわてグリーンサポート	・「身寄りのない」高齢者あるいは高齢単身者が、社会から取り残されないように少しでも不安を無くして安心して暮らせるための支援活動を行っています。 ・高齢者の自立支援・権利擁護を活動趣旨として、孤立なきまち盛岡を願って活動を開始し、四半世紀が経過しようとしています。
5	盛岡市	田中自治会	・住民との交流を深めるため、成人祝賀会や敬老会といった住民の交流促進を目的とした行事を開催するとともに、地域の美化活動にも取り組むなど良好な地域コミュニティの形成に向けた活動を行っています。
6	北上市	稲瀬町自治協議会	・令和2年度に地域住民が主体となって地域計画(令和3～12年度)を策定しました。 ・その後、地元唯一の教育施設である照岡小学校が令和5年3月末で閉校となることを受け、小学校統合後の地域づくりについて、地域住民が主体となって話し合い、令和4年度に基本構想を作成しました。 ・地域の主産業である農業を活かし、守る新たな地域づくりにより、人口減少が進む中でも、稲瀬に関わりを持つ多様な関係人口の創出を目指し、企業、行政と連携した「空飛ぶフードプロジェクト」、高校の探究学習のフィールド提供等を住民一体となって進めています。
7	大槌町	源水自治会	・元々住まれていた方々と東日本大震災後に建設された災害公営住宅に入居された方々により構成しているため、普段の自治会活動から顔の見える関係性を構築することを目指して、住民交流や地域の環境美化など様々な活動を実施し、コミュニティの希薄化の解消とさらなる地域の活性化を促進しています。
8	山田町	教育振興運動山田北地区実践協議会『北っ子の会』	・山田北小学校時代にあった「おやじの会」の後継団体として、北小廃校と同時期に結成され、子供たちを中心とした体験活動、地域伝統行事の継承、及び環境整備を兼ねての地域理解活動などを実施しています。
9	山田町	山田北地区自治会	・かつての柳沢地区には自治会が存在し、環境美化などの活動を実施していましたが、ある時期から活動が停滞、そして解散となり、東日本大震災を経て今日に至っています。 ・このような状況の中、新しく区画が整理され住環境が整いつつある半面、環境面での課題が生じてきたことから、自治会を組織し、住民主体で地域環境の整備や新たな結いの活動を実施しようとの機運が高まり令和5年に結成したものです。 ・初年度の活動としては草刈りや沿道の花壇の草取りなど環境美化を中心とした活動のほか、地区内子供会と合同で「盆踊り大会」を実施しています。